



「半導体人材育成 連携を」

萩生田政調会長 熊本高専や熊大視察



熊本高専熊本キャンパスで学校関係者から説明を受ける自民党の萩生田光一政調会長（右）

＝24日、合志市

自民党の萩生田光一政調会長が24日、台湾積体回路製造（TSMC）の菊陽町進出に伴い、県内の半導体に関連する教育現場を視察した。萩生田氏は「半導体人材の育成について、引き続き県や教育機関と連携を取る」と述べた。

の新たな科目を昨年度、設置したことなどを紹介。萩生田氏は、半導体部品の組み立て演習や実験をするクリーンルームでの授業を見学した。

視察後、萩生田氏は「期待以上に早いスピードで人材育成に力を入れている。研究施設も素晴らしい」と話した。県内を優先して検討されているTSMCの第2工場建設に伴う財政支援について「第1工場建設の際、TSMCにはさらなる整備を要望しており、イメージに近づきつつある。第2工場についても政府が必要な支援をすべきだ」と話した。

視察に先立ち、萩生田氏は熊本市内のホテルで蒲島郁夫知事らと非公開で意見交換。冒頭、蒲島知事が「半導体関連企業の集積は経済安全保障の一翼を担っており、できることはどんどん進めている」と強調したのに対し、萩生田氏は「政府と連携して熊本の取り組みを積極的に支援したい」と応じた。

（豊田宏美、小山智史）